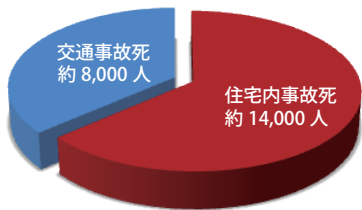


家 の匠



今回は住宅での危険について福祉住環境コーディネーターの立場から書いてみます。

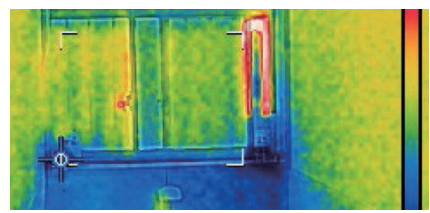
死亡事故で一番多い原因はと聞かれて一番は交通事故と答える人が多いでしょう。毎年交通

事故で年間約8000人もの人が亡くなられていますが、実は一番多い死亡事故は住宅事故なんです。年間14000人もの人が住宅内の事故で亡くられています。住宅内事故の一番多い場所はどこでしょう？

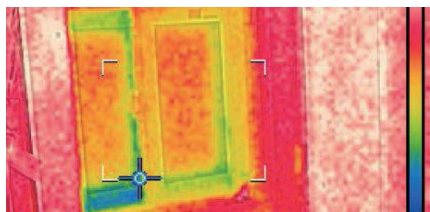
やはりお風呂です。日本の文化として、寒い脱衣室で裸になり一気にあったかいお風呂に入る。気持ちいいですよね。でもその行為が一番危険で、急激な血圧の変動により脳虚血や心筋梗塞などになるようです。これをヒートショックと呼び、日本の住宅内での死亡事故の3分の1を占めています。お風呂での対策としては脱衣室と浴室を暖房して部屋の温度をある程度一定にすることが大切です



サーモグラフィを使えば家の弱点が一目瞭然。(築10年) 内窓を取り付ける提案をします。



築30年の脱衣室：部屋全体が冷えているのがわかります。



匠堂がつくる脱衣室：最新の断熱サッシを使うと部屋の冷え込みが少なくなります。

ヒートショックが起こりやすいのはお風呂だけではなくありません。断熱性能の悪い住宅等でも起こります。就寝時も暖房がベストですが特に起床時の朝の冷え込みも、ヒートショックの原因となりますので、起床時間にあわせエアコンのタイマーで暖房しておくのもいいでしょう。

もともと急激な温度差による体への負担が原因なので温度差を少なくするよう暖房を心がければヒートショックになる可能性は少なくなります。これから冬になり特に冷え込みます。暖房のよく効く住宅に改修するか、我慢せず積極的な暖房を心がけてください。

匠堂ではサーモグラフィを使った、サーモグラフィを利用した暖房のよく効く住宅へ改修を得意としていますので、お気軽にご相談ください。

来年も皆様にとって健康で幸多き一年になりますよう、お祈りいたしております。

北村工務店



住：米原市顔戸 1361-20
 Tel：0749-50-3208
 直通電話 090-5050-1093
 営：8:00～21:00
 休：無休 駐：有
 URL: <http://e-takumido.com>